

2011年12月6日

アンケート・署名にご協力頂いたみなさま



「中学校給食、Yes? No?」アンケート&署名



結果のご報告。



中学校給食を求める横須賀市民の会 事務局
横須賀市議会議員 小林のぶゆき

吉田雄人市長も、永妻和子教育長も、「ニーズは低い」「導入は難しい」という発言をしてきた中学校給食。市議会議員になる前から「中学校でも給食やってほしい」という多くの親御さんの声を聞いてきた私としては、ゼンゼン納得できませんでした。

「中学校給食、やるかやらないか」は、誰が決めるのか？

私は、最終的には市民が決めることだと思います。「市民にアンケートもとらないで、市民が入った検討委員会で検討もしないで、勝手に決めるな」そう思うんです。そこで「市役所がやらないんだったら、自分たちで直接、市民に問いちゃおう！」と考えて、有志の方々に支援して頂きながら、今回のアンケート&署名を実施しました。

「Yesが正しくてNoが間違っている」なんて思いません。Noの方からもしっかりした理由を挙げて頂いたと思います。公平に扱ってご報告します。私自身はYesですが、「市全体の利益を考えたとき景気・雇用・定住促進でメリットが大きい」という理由です。ともかく、ご協力を頂いたことに心から感謝しながら、結果をご報告いたします。

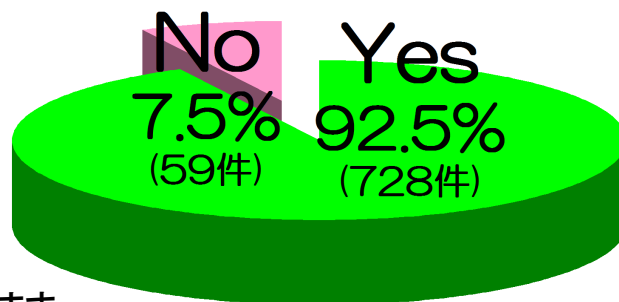
結果報告

1)概要

- 期間 平成23年10月10日～平成23年11月10日
- 告知方法 記入用紙の街頭配布、およびホームページでの告知
- 回収方法 街頭での回収、および郵送、E-mail、FAXによる回収
- 対象 横須賀市在住者

2)集計結果

- アンケート 賛成728名 反対59名
- 署名 給食導入を求め、計485名



3)ご意見など 次ページ以降で紹介しています。

※なお、署名については横須賀市側に受け取りを要請していますが、まだ実現していません。



中学校給食に賛成の理由

No.	分類	件数	主な意見
1	親の負担軽減	48	<ul style="list-style-type: none">・共働きや母子・父子家庭など、給食があると助かる。・弁当を作れない家庭もある。
2	栄養のバランス	44	<ul style="list-style-type: none">・育ち盛りの子供には栄養管理が大切。・忙しいためどうしても冷凍食品に頼ってしまうのが現状。・栄養士のついた給食は安心。・ご飯に梅干だけなど偏ったお弁当の子供が実際にいる。
3	他自治体との比較	14	<ul style="list-style-type: none">・全国でも中学校給食を導入する自治体が大半。・横須賀にないのは不思議。納得いかない。導入が遅い。・自分が育った自治体は中学校完全給食だった。・三浦市の給食も良いらしいため。
4	教育面	9	<ul style="list-style-type: none">・同じメニューを皆で食べる楽しみ。一体感が生まれる。・生徒が役割分担して配膳など行うことで自主性と協調性が養われる。・食育に良い。
5	他事業との比較	6	<ul style="list-style-type: none">・給食のほうが他の事業より優先度が高い。・子ども手当をなくしても、給食無料にしてほしい。・お金を配るより親の負担を減らしてほしい。・子ども手当から天引きでもかまわない。
6	衛生面の懸念	6	<ul style="list-style-type: none">・弁当では夏の食中毒など衛生面が心配。
7	食の質と量	4	<ul style="list-style-type: none">・温かい給食を食べさせたい。冷たいものではかわいそう・お弁当はおかわりできない。
8	地域経済への貢献	3	<ul style="list-style-type: none">・給食の実施は、市内の雇用拡大につながるため。
9	定住促進への寄与	3	<ul style="list-style-type: none">・給食実施により、若い世代の住民増につながる。・近隣自治体からの転居が期待できる。・横須賀を、もっと子育てしやすいまちにしてほしい。
10	偏食の是正	2	<ul style="list-style-type: none">・子供の偏食、好き嫌いをなくすために良い。
11	生徒が希望	2	<ul style="list-style-type: none">・子ども自身も給食を希望しているため。
12	女性の社会進出	2	<ul style="list-style-type: none">・女性の社会進出が進んでいるため。・ワーキング・マザーが増えているため。
13	小学校との比較	1	<ul style="list-style-type: none">・小学校に給食があって中学校にないのはおかしい。
14	生徒の羞恥心	1	<ul style="list-style-type: none">・お弁当の場合、なんとなく恥ずかしくて隠しながら食べる者もいる。多感な時期だからこそ、みんなと同じものを心おきなく食べてほしい。



中学校給食に反対の理由

No.	分類	件数	主な意見
1	給食費の未納	10	・給食費の未納問題が解決されていないため。
2	他事業との比較	10	・財政赤字など、給食よりも優先すべき課題がある。
3	個別対応が不可能	2	・食品アレルギーやアトピーがある子供が多いから。
4	親の怠惰を助長	2	・親が忙しいのはわかるが、結局は楽をしたいという怠惰のため。給食を導入すると、健全な市民を育てない。 ・弁当を作る責務がなくなる事で毎朝の食事や、学校の送り出し習慣がおろそかになる懸念。
5	親の関与を維持	2	・親が子供に関われる時間はほんの僅かな期間であり、その間を十分楽しむ必要があるため。 ・弁当作りは親の当然の義務。子供のために一生懸命に弁当を作る親の姿が子供に対して無言の教育になる。
6	偏食のため	1	・好き嫌いがあり、給食が食べられない子もいるため。
7	衛生面の懸念	1	・食中毒が心配だから。
8	放射能への懸念	1	・放射性物質汚染が心配だから。
9	中学生には不要	1	・中学生なら自分でお弁当を作れるため。
10	現状の肯定	1	・現状では8割の親が弁当を手作りしているから。 ←小注：実際には9割だそうです。
11	公立の過度な優遇	1	・公立校で基本的な授業の質が担保されないために私立を選ぶ人もいる。こうした中、公立校ばかりが財政的に優遇される状況が更に進むことになるため。
12	給食の役割は終わった	1	・学校給食は、食糧難の時代に児童生徒に最低限の栄養を提供するために始まった制度。すでにその使命は終わった。小学校の給食も廃止を検討すべき時期。

実施方式や
実施の際の
課題について
もご意見
頂きました。

給食費の未払いをどう防ぐかが課題。
義務教育の一環という観点から、当然公費で実施するべき。
給食実施時に注意しなければならないのは教師の負担削減。
給食とお弁当持参の選択制でも良い。
給食とお弁当持参の選択制ではなく、
教育の観点では、全員同じものを食べるほうが望ましい。
自校方式でなく、民間委託でも良い。
業者優先のパン注文は廃止して、給食を実施してほしい。

以上



この用紙は、適切に管理された森林の木材であることを示す FSC 認証材を約 79%、再生紙を約 20%、琵琶湖・淀川水系のヨシを使用したヨシパルプ約 1%をミックスしたもので、環境に配慮しています。